

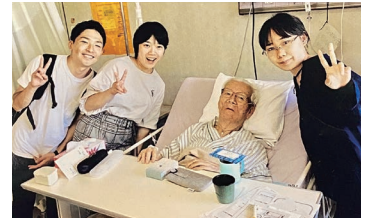
MERI Japan News

メリジャパンニュース

2021年6月10日発行 VOL. 15 no.1

Comments ご家族の声

ご献体でのサージカルトレーニングを行ううえでは、活動の基盤であるご献体者やご家族の思いを正しく理解し、その思いを大切にしながら、医療の進歩と安全性の向上に役立てることが大切です。今回は、お父様の献体を経験した堀仁美（メリジャパンスタッフ）より、家族をご献体者として送り出す側からの思いをお届けします。



希望する人も、残される家族も、皆が納得できる献体であってほしい。

堀 仁美

名古屋市千種区在住。父の献体をきっかけにメリジャパンの活動に興味を持ち、2020年11月から同法人に事務員として勤務。3児の母でありながら、ゴスペルグループ「TS-Joy」での指揮や子育てネットワークのサポートなど、地域活動にも積極的に取り組んでいる。



私が父に献体の意志があることを知ったのは、父が亡くなる1年ほど前でした。兄からの電話がきっかけでした。当時の私は、献体とはどんなものかよく知らなかったので、慌てて調べたのを覚えています。その後詳しく話を聞くと、父は献体のために名古屋市の篤志献体団体である不老会に入会したいと思っており、不老会への入会には身内4人の同意が必要なので、私にも署名して欲しいということでした。

突然の話だったので多少驚きはしましたが、私は「献体をする」という父の決断に抵抗感を感じることはありませんでした。その理由は大きくふたつあると思います。ひとつは父の人柄です。父は自由奔放でお調子者な面もありましたが、サービス精神旺盛で人の役に立ちたいという思いが強い人でした。60歳手前で仕事を辞めてからは、主夫業の傍ら防犯委員長など地域のボランティア活動に熱心



に取り組む、皆に親しまれる、地元ではちょっとした有名人でした。そんな姿をみてきた私にとって、献体は、死してなお社会貢献をしようとするとともに父らしい決断だと感じられました。ふたつ目は私の社会貢献志向です。父の影響か、看護師だった母の影響か、私には昔から「人の役に立ちたい」とい

う強い思いがあります。献血や臓器提供なども、できることならしたいとずっと思ってきました。しかし、私は母子感染でB型肝炎を患っており、それらの社会貢献をしたくてもできません。その歯がゆさも父の決断をすんなりと受け入れられた要因だと思います。

私は、その後、不老会の方から献体についての説明を受け、すぐに同意書に署名しました。その判断は、今でも正しかったと思っていますし、結果として父の希望を叶えられたことは本当によかったと思います。ただ、振り返ってみると「もう少しこうすればよかった」という点もあります。とりわけ大きいのが、父とお別れするまでの時間です。父の意向で葬儀を行わなかったこともあり、父の遺体は亡くなった6～7時間後には運び出されてしまって、それっきり会うことはできませんでした。献体の覚悟を決めていた私たち家族ですが、あまりにもあつという間の出来事に呆然としてしまい、充分にお別れの時間がとれなかったことに心を痛めた者もいました。今思えば、事前にしっかり献体当日の流れを確認し、家族でのお別れの時間を確保できればよかったです。

父が亡くなった2019年11月から約1年半が経過し、現在は私はNPO法人メリジャパンで事務員として働いています。同法人でサージカルトレーニングのサポートなどに関わると、献体の意義を再確認し、父の決断をより一層誇らしく思えます。医師をはじめとした医療職の皆さんには、父たちのような献体者の意思を生かし、ぜひ多くの人を救っていただければと思います。

最後に献体希望者のご家族にお伝えしたいことがあります。献体は社会に役立つ素晴らしい行為だと思いますが、ご家族が嫌な思いをしてまですべきものではありません。もちろん献体者の意志も大切ですが、残されるご家族の思いもとても重要です。無理に同意をするのではなく、ご家族でしっかりと話し合い、希望者もご家族も皆が納得できる形で献体を行うことが大切だと思います。

医療を育てる活動の輪に、あなたもご参加ください。

日本の医療技術の習得や開発は、私たちの、未来の日本のためのものです。外国の施設や善意にいつまでも頼るのではなく、医療の質と安全については、日本国民自らが負うべきではないでしょうか。メリジャパンの趣旨にご賛同いただける方は、寄付、またはご入会を受け付けておりますので、ぜひご協力ください。お問い合わせをお待ちしています。

◆ 会員の種別

会員の種別	特 徴	年会費
正会員	総会議決権を持つ会員です。 運営にも積極的に関わっていただきます。	個人会員 ¥5,000
		法人会員 ¥10,000
賛助会員	総会の議決権はありません。 活動を支援してくださる方が対象です。	個人会員 ¥3,000
		法人会員 ¥5,000

※正会員・賛助会員ともに入会金は不要です。

ご寄付・ひとさーじ募金について

医療事故や医療過誤をなくし、高度な医療技術の普及をめざす活動を推進するための募金を行っています。
みなさんが、そしてご家族・ご友人がより高度な医療を安心して受けられるよう、医療の質と安全性の向上をめざす活動へのご協力をお願いいたします。

ひとさーじ募金をご希望の方

ひとさーじ募金とは医師の医療技術向上のための「サージカルトレーニング」を支えていただく、定期的な募金システムです。毎月1,000円の継続の寄付により、医師・医療を育てる活動に協力をお願いします。

1,000円は、1回のサージカルトレーニングで、ひとりの医師が着用するガウン・帽子・マスク等の費用に相当します。

お申し込み口数 **1口1,000円**より

法人での寄付・遺贈寄付をご希望の方

事務局までご相談ください。

TEL 052-784-8775 E-mail meri_info@hachiya.or.jp

銀行振込での募金・ご寄付ご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込ください。

- 名古屋銀行 覚王山支店
普通3312469 口座名:トクヒ)メリジャパン
- 三菱UFJ銀行 覚王山支店
普通0120842 口座名:トクヒ)メリジャパン
- ゆうちょ銀行
12140 89381881 口座名:トクヒ)メリジャパン
(他行からお振込みの場合は
ゆうちょ銀行218支店 普通8938188)

※いただきました個人情報は、領収書、活動報告、市民講座のご案内などの送付に使用し、それ以外の目的には使用いたしません。
※振込手数料は、ご負担いただきますようお願いいたします。

編集 後記

前回のニュースレターでお願いしたタオル・シーツ類の寄付につき、多くの方からお申込みをいただきました。昨年度はコロナ禍にて当法人が運営の補助をしたサージカルトレーニングも2回のみでしたが、その実習でも使わせていただきました。ご協力くださった方に心よりお礼申し上げます。

今回のニュースレターでは、当法人に新しく迎えたスタッフが経験した、家族のご献体登録とお見送りについてのインタビューを掲載しました。当法人の会員にも、献体登録をされている方、また検討されている方が多くいらっしゃいます。ご登録者、残されるご家族双方が納得できるよう、事前の話し合いや心の準備などが充分に必要なのだとあらためて感じました。

今年度に入り、少しずつではありますがサージカルトレーニング実施のお話も入ってきています。ご献体者、そのご家族の思いに応えられるような運営補助を行ってまいります。

※タオル・シーツ類の寄付については十分な数量をいただきましたため、一旦中止しております。ご了承ください。



MERI Japan

特定非営利活動法人メリジャパン

〒464-0821 名古屋市千種区末盛通2-4 はちや整形外科病院内

電話 052-784-8775 E-mail meri_info@hachiya.or.jp

URL <https://www.merijapan.org>